

## (1) 討論主題---『2030年の分析化学』

オーガナイザ：馬場嘉信（名大）・大塚浩二（京大）・北森武彦（東大）

本年9月、文部科学省 科学技術・学術政策研究所は、2030年の将来社会ビジョンと実現のシナリオを発表し、グローバル課題の解決にあたり、我が国が主要な役割を果たす姿を示しています。

本討論主題においては、2030年の未来社会におけるグローバル課題の解決のために、分析化学がどのような役割を果たすのかを展望します。分析化学の各分野において世界の最先端で研究を進めておられる先生方に依頼講演を行っていただき、分析化学の未来像を縦横に熱く語っていただきます。参加者の皆様と、分析化学の明るい未来を展望したいと思います。

### 【依頼講演】

- 1) 外から見た日本の分析化学：ビジョンと現状に根ざした学術外交と国際産学連携（東大）北森武彦
- 2) 近未来における分離科学の新展開（京大）大塚浩二
- 3) 生体分子の可視化と光操作法から展望する未来の光分析技術（東大）小澤岳昌
- 4) 蛍光プローブライブラリーを活用した新たな臨床イメージング技術の創製（東大）浦野泰照
- 5) 2030年の将来社会ビジョン実現とグローバル課題解決のための分析化学（名大）馬場嘉信

※演題は仮題を含みます。